

## 北九州未来創造セミナー 出演者経歴

### 【ナビゲーター】

北九州市立大学教授 永原正章 (Masaaki Nagahara)

#### <経歴>

2003年、京都大学で博士(情報学)の学位を取得後、同大学で助手、助教、講師を経て、現在、北九州市立大学教授およびインド工科大学客員教授。

専門は自動制御理論と機械学習。

米国電気電子学会(IEEE)制御システム部門より国際賞である Transition to Practice Award (2012年)および George S. Axelby Outstanding Paper Award (2018年)をそれぞれ受賞。Sparsity Methods for Systems and Control (Now Publishers) や「スパースモデリング」(コロナ社)など著書多数。

### 【MC】

フリーアナウンサー 桑原ナミ (Nami Kuwahara)

---

### 【第一回ゲスト】

株式会社 KDDI 総合研究所 川田亮一 (Ryoichi Kawada)

株式会社 KDDI 総合研究所 西谷明彦 (Akihiko Nishitani)

#### <経歴(川田氏)>

所属：株式会社 KDDI 総合研究所 イノベーション協創グループ

大学院修了後、現 KDDI 入社、研究所に勤務。主としてテレビ伝送の高効率化・高信頼化・高品質化に関する研究開発、特に動き補正 TV 方式変換や映像品質監視など映像信号処理の研究開発に従事(博士(工学))。その経験を活かし現在、水中ドローン等の音響測位を革新する方式の研究開発に取り組んでいる。映像情報メディア学会の技術振興賞開発賞ほか、学会からの受賞多数。また、取り組んだ研究開発成果により、社長賞もこれまでに 3 度受賞している。内閣府出向中には、Society5.0 の普及活動にも取り組んだ。

#### <経歴(西谷氏)>

所属：株式会社 KDDI 総合研究所 イノベーション協創グループ

入社後、分散ファイルシステム技術や、サイレント障害検知技術などの研究に従事、その後研究のフィールドを海洋に移す。2019年深海探査技術の世界大会に、日本チーム (Team KUROSHIO) の一員として挑戦し、「世界第2位」を獲得。海中での無線通信技術を実用化すべく応用研究に挑み、LED 光通信により海中でスマホ (SNS) を使うといった世界初の PoC にも成功。現在は、陸上と同様に、海中でも普通にスマホ生活を送れるようにすることを目的に、研究を進めている。また、水中無線技術の産業化を目指す ALAN コンソーシアムにおいて、その運営にも携わり、技術と自然のコラボで、人と海が共存し、海洋を新たな生活圏・経済圏とする夢を追いかけている。

## 【第二回ゲスト】 株式会社デンソー 門脇正史 (Tadashi Kadowaki)

<経歴>

所属：株式会社デンソー AI 研究部 基盤技術研究室

1999年東京工業大学理工学研究科物理学専攻博士課程修了。博士（理学）。大学院在学中に、量子アニーリングの基本原則を指導教官の西森教授と提案。卒業後はローム（株）にてFPGAの開発に従事。バイオベンチャーにてバイオインフォマティクス研究に携わる。国立成育医療センター研究所、京都大学での研究を経て、エーザイ（株）にてゲノム創薬、臨床試験、AI創薬に従事。

2018年より（株）デンソーにて量子アニーリングや量子コンピュータの研究に携わる。

## 【第三回ゲスト】 有志団体 Dream On 中村翼 (Tsubasa Nakamura)

<経歴>

所属：有志団体 Dream On（代表）

トヨタ自動車勤務時代に、業務外で有志団体 CARTIVATOR を立ち上げ、次世代に夢を提供すべく空飛ぶクルマの開発をスタート。

有志団体からスピンオフしたベンチャー企業 SkyDrive 社との共同開発により、2020年夏に日本初有人デモフライトを達成。

2021年からは有志団体を Dream On と改名し、新たなテーマである「未来へのタイムマシン」実現に向けた新たな挑戦をスタート。

Dream On のミッションは「夢を追求し、夢のあふれる未来を創造する」ことで、「世界中の人が夢や未来について考えて行動し、ワクワクする日々を送っている」というビジョンを掲げている。

並行して、慶應義塾大学大学院 SDM 研究科・空飛ぶクルマラボの特任助教を務め、空飛ぶクルマの社会実装に向けた研究を行っている。